

事務事業名	畜産担い手育成総合整備支援事業			担当	産業環境部 農政課 園芸畜産係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり		電話番号	0285-83-8139		
施策名	01	農業の振興		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	(国庫)畜産担い手育成総合整備事業実施要領				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度~)		
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費		5.畜産業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H18 年度~ 22 年度)	
事業概要	<p>畜産担い手総合整備支援事業は、生乳の生産地を安定的なものとするため、飼料畑の造成・整備を推進するとともに畜舎・ふん尿処理施設等を整備し、魅力ある近代的畜産業の推進を目的としています。</p> <p>事業主体は、栃木県農業振興公社で、真岡市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町を栃木はがの地区として位置づけ、平成18年度から事業を開始し、平成22年度までの5年間を事業期間としている。真岡市では2戸の畜産農家が参加している。</p> <p>補助率 ・基本施設(草地造成・整備、国1/2 県1/4 市1/20) ・農業用施設(畜舎、糞尿処理施設、国1/2 県1/5 市1/20)</p> <p>(このシートに記載されている平成18年度から平成20年度までの実績は、合併前の旧真岡市の実績を記載しております。)</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動) 23年度実績 ・補助金交付事務 ・草地造成及び整備 0.98ha 施設用地造成 0.18ha 糞乾施設 1棟 24年度計画 ・事業終了	⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 補助金額		109,076	11,301	23,495		
	イ ウ エ オ						
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・栃木県農業振興公社 (栃木はがの地区補助事業採択農家)	⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 酪農家数		20	40	39		
	イ ウ エ オ						
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) ・飼料自給率の向上と、飼養頭数の増加及び畜舎整備・ふん尿処理施設を整備し、畜産農家の育成を図る。	⑦ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 整備した酪農家数 (累計)		2	4	4		
	イ ウ エ オ						
④ 結果 (どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) ・先端技術等を活用した高品質な畜産物の効率的生産の促進。	⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 生乳量		5,523	12,401	10,413		
	イ ウ エ オ						

(2) 総事業費の推移		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	72,114	7,358	13,500	0	0
		県支出金	千円	29,195	3,255	7,443	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	35,152	3,343	6,203	0	0
		一般財源	千円	7,767	760	2,552	0	0
		事業費計 (A)	千円	144,228	14,716	29,698	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	0	0
		延べ業務時間	時間	200	200	200	0	0
		人件費計 (B)	千円	836	811	854	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	145,064	15,527	30,552	0	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	安定した畜産基盤を作るため、平成13年度に国の補助制度が創設された。
②事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	肥料及び配合飼料の価格高騰により、畜産経営は厳しさを増している。
③この事務事業に対して関係者 (住民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 飼料畑造成・畜舎等の施設を整備することは、畜産物の効率的な生産の促進につながり、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 国の補助事業を導入して、畜産振興を図ることは、重要なことであり公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 国庫補助事業で補助要件が定められ、畜産農家の育成を図っているため、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 全体計画が認定され、畜産物の効率的な生産の促進を図っているため、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 畜産担い手育成総合整備事業を廃止することは、畜産業の振興に支障をきたすため、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 国の補助要件が定められており、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 一部補助で農家も応分の負担をしており、公正公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							